

令和3年度 管理運営評価シート

施設名	人と防災未来センター	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃 1回/2日 ・巡回清掃 2回/日 ・定期清掃(カーペット洗浄) 2回/年等 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画どおりの清掃のほか、新型コロナ感染対策として全室の卓上、手摺、ドアノブの消毒、また、職員、来館者、業者に手指消毒を実施した。 	◎	◎
	設備保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常巡回点検 毎日 ・自動扉保守点検 3回/年 ・昇降機保守点検 1回/月 ・消防設備機器点検 2回/年 ・総合点検 1回/年等 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定事項を遵守し各設備の定期点検を計画どおり実施した。 ・日常点検及び定期点検により設備機器不具合が迅速に解消された。 	◎	◎
	植栽管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常灌水散水 適宜 ・芝刈り 3回/年 ・芝目土入れ 1回/年 ・害虫駆除 3回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内観葉植物、外構樹木、芝等への日常灌水散水、定期的な害虫駆除、芝刈り等計画どおり実施した結果、年間を通じて常時美観が維持された。 	◎	◎
	警備	<ul style="list-style-type: none"> ・日常保安業務 ・館内、外構定期的巡回防災、防犯点検 ・有料駐車場管理 ・機械警備遠隔監視等 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画どおりの24時間体制での警備管理が実施された。 	◎	◎
	小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・展示エリア給気排気設備更新 ・各室空調機更新 ・空調用自動制御機器更新 ・給水、排水ポンプ類更新等 	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合のある箇所を速やかに補修し、来館者に快適な環境を提供することが出来た。 	◎	◎
	法定点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・6.6kV 高圧受変電設備定期点検 1回/3年 ・ゴンドラ設備性能検査 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・保安規定に基づき受変電設備点検、測定及び試験を実施した。 ・日本クレーン協会検査指導の元ゴンドラ性能検査を実施した。 ・人身事故を起こさない安全性が維持された。 	◎	◎

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
運営業務	開館日・開館時間等	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター管理規則(兵庫県規則第49号)に規定	・開館時間 9:30～17:30 (7～9月は9:30～18:00) (金・土曜日は9:30～19:00) ・休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12/31、1/1 金・土曜日は開館時間を延長し、土日祝日も年末年始を除いて開館しており、来館しやすい環境を整えている。 (ただし、新型コロナウイルス感染症拡大期には、県の指針に従い臨時休館)	◎	◎
	公共性・公平性の確保	全ての利用者への平等・公平な利用機会を確保	予約団体数:1,724 団体 利用案内をリーフレットやホームページに掲載し、広く周知を図った。また、団体予約は先着順で受け付けるなど、公平で透明性の高い運営を行うことができた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	(1)展示施設の運営 開館日 310日(年度当初) (2)企画展・イベント 企画展 年10回以上 イベント 年10回以上	(1)展示施設の運営 開館日 292日 (2)企画展・イベント 企画展 年15回 イベント 年34回 新型コロナウイルスの影響や大規模修繕工事により臨時休館(18日間)があったものの、企画展やイベントは一部をオンライン実施に切り替え、計画以上の回数を実施した。	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	一般観覧者を対象としたアンケートを実施	来館者に対するアンケートを実施、170件の回答があった(実施期間:R4.1.19～3.27、有効回答数166件)。満足度は4.61点/5.00点中(2年度4.55点/5.00点)と、前年度と同水準以上を確保した。	◎	◎
利用状況	利用者数	利用者数:50万人超 [前年度:64,517人]	利用者数実績:137,618人 新型コロナウイルスによる海外からの渡航制限、県外との往来自粛などの要因により、前年度を上回ったものの、低調に推移した。	◎	△
	施設稼働率	該当なし			

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
収支状況	収支計画と実績	<p>【予算額】</p> 収入:888,870 千円 入館料収入 5,519 千円 テナント・駐車場等収入 33,876 千円 県補助金 12,869 千円 指定管理料収入 731,417 千円 その他収入 105,189 千円	<p>【決算額】</p> 収入:883,976 千円 入館料収入 5,838 千円 テナント・駐車場等収入 33,919 千円 県補助金 12,865 千円 指定管理料収入 731,417 千円 その他収入 99,937 千円	◎	○
	経費節減に向けた取組	・機器の計画的な更新による 光熱水費の節減	・自動制御機器システム更新により 展示室,事務所,テナント等の空調運 転時間,照明使用時間や熱源使用量等 を節減できた。	◎	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	来館者対応は、マニュアルに従い 来館者対応業務委託事業者が行い、 随時報告を受け、情報を共有する	苦情要望には速やかな対応を心がけ、 必要があれば所管課が引き継ぎ、 対応した。例として、団体入館の際、 検温に時間を要していたため、 検温器を増やし、スムーズな入館へと 改善した。	◎	◎
	危機管理体制の確保	防犯体制を確保し、消防訓練を 適切に実施(年1回)	消防訓練:R3.12.20 実施 職員参加のもと、消防訓練、 避難誘導訓練を行った。	◎	◎
	県・関係機関との連携	内閣府や県防災部局とは毎年 意見交換の場を設け、当センターの 事業報告を行うとともに、適宜情報 交換を図る。	内閣府や県防災部局とは毎年 意見交換の場を設けており、当 センターの事業報告をしているほか、 適宜情報交換を図っている。	◎	○

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
運営 体制	業務の再委託の状況	(1)来館者対応業務 (2)展示機器保守 (3)イベント等企画運営	(1)予約受付、案内業務、館内展示機器の起動等 (2)各機器の機能・制御のシステム動作、コンテンツの品質保持等 (3)イベント等の企画調整、運営、広報物の製作等 プロポーザルにより委託先を決定し、円滑に行われた。	◎	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

維持管理業務においては、施設・設備の法定点検はもとより日常的な点検と適切な管理を行い、不具合箇所には速やかな修繕を実施するなど、安全確保には十分な注意を払った。また、新型コロナウイルス感染防止対策として細やかな清掃と職員・来館者への手指消毒を徹底するなど、安心して来館していただけるよう留意した。

運営面においては、コロナ禍の影響で利用者数は低調に推移したものの、リモート配信を取り入れるなどの方法で計画回数以上の企画展やイベントを実施した結果、コロナ禍前と遜色のない利用者満足度を得ることができた。集客の回復が目下最大の課題であり、コロナ後を見据えて広報・集客対策に取り組みたい。

令和3年度 総合評価シート

評価者：危機管理部防災支援課

施設名	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数の低迷が続くなか、6月にリニューアルオープンした東館3階「BOSAI サイエンスフィールド」を活用した夏休みイベントの実施や、オンライン配信を併用した研修事業の実施等の工夫に努めたことで、利用者数が前年比倍増し、利用者アンケートにおいても、例年に引き続き高い評価を得るなど、質の高い管理運営が実施された。
- ・施設・設備の維持管理においては、日常の清掃・点検に加え、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための消毒・清掃が徹底されており、また、入場時の検温・手指消毒の実施や混雑時の入場制限など、利用者が安心して観覧できる館内環境が確保された。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・新型コロナウイルス感染症禍で利用者数が落ち込むなか、団体予約状況等に応じたアテンダントの配置など、適切な運営体制を構築すること。
- ・平成 14 年の開館から 20 年の節目となる機会を活かしたイベント・企画展等の実施に努め、県と適切に情報共有を行い、効果的な広報活動等により利用者の確保に努めること。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である